

12月24日(金曜日) 学校・地域連携カリキュラムの見直しに向けて 県教委主催オンライン研修会

県教委主催の「社会に開かれた教育課程の実現のためのカリキュラム・マネジメントと学校・地域連携カリキュラムのオンライン研修会」が開催されました。県庁と県内各市町教育委員会や学校をオンラインで結んだ研修会で、宇部市では市立図書館で行いました。学校・地域連携カリキュラムとは、学校と地域が連携・協働する教育活動を目に見える形(文字、図、写真)で示したもので、活動の「目標」や「内容」が書かれています。先進的な学校や地域の事例が示され、大変内容の濃い研修会でした。各学校の連携カリキュラムが一層充実することを期待しています。





12月21日(火曜日) 慶進中学生による読み聞かせ・手遊び 神原小学校

神原小学校は近隣の私学慶進中学校と連携しており、この日は2年生6人が1年生を対象にして、絵本の読み聞かせや手遊びを行いました。子供たちは「バーバパパのえほんがおもしろかったです。」「とてもたのしかったです。またきてほしいです。」ととても喜んでいました。





## 12月9日(木曜日) 先輩、お帰りなさい。 藤山中学校1年生里帰り事業

藤山中学校では、卒業した中学1年生が、母校に帰り、児童と交流したり、母校の清掃活動をしたりする活動を行っています。この日は、5校時に、1~4年生教室を訪れ、中学校生活について話をし、その後、中学生が考えてきた活動をして、楽しく交流し、どの教室も大変盛り上がりました。6校時は奉仕作業として、玄関、手洗い場、トイレの掃除、窓ふきなどを後輩のために黙って一生懸命してくれました。卒業して9か月、立派に成長した先輩の姿に、在校生達もきっと憧れを抱いたことでしょう。





11月25日(木曜日) 委員会で取り組んでいることを委員さんに説明 原小学校学校運営協議会

原小学校の第3回学校運営協議会では、6年生児童が各委員会別に分かれて、ZOOMを活用して、委員会活動の様子を地域の委員さんに紹介しました。日々の取組について、写真や動画を織り交ぜたプレゼンを作成して紹介した後、委員さんから質問を受けました。原小では図書の貸し出しが少しずつ増えていますが、委員からはその理由を質問されたり、環境整美委員会の校内のごみの分別について質問されたりしていました。まだ地域の方との「熟議」とまではいきませんが、これをきっかけに委員会の仕事を地域の方と一緒に行ったり、地域の同様の仕事に児童の委員会が加わったりする「委員会活動での協働」の取組が期待されます。





11月19日(金曜日) 鵜の島地区をもっと盛り上げるためにできること 宇部授業の日 鵜ノ島小学校

宇部市では、教員の授業力の向上をめざし、中学校ごとに授業研究会を開催しています。この日は、鵜ノ島小学校で授業公開があり、藤山中学校区の教員が集まりました。鵜ノ島小学校では、本年度、地域とともにある学校(授業)づくりをテーマに、特色あるコミスク活動を取り入れ、ふるさとのよさについて考え主体的に表現できる子どもを育成する授業改善に取り組んでいます。授業では、5年生が、先日の地域の秋祭りに参画した経験を元に、地域をもっと盛り上げるためにさらに自分たちでできることについて話し合いました。授業には地域の方もお二人が参加し、何度も発言をされました。日々の授業こそが、地域と連携・協働し、子供たちの地域愛・貢献意識を育てる場です。





11月15日(月曜日) ~ ふるさとの宝をモザイク壁画にして駅舎に展示藤山中学校

藤山中学校区には、岩鼻駅、居能駅、宇部新川駅と3つの駅があります。3年生が、文化祭における制作活動の中で、地域の魅力を駅の利用者に伝えることを目的に、ふるさとの宝をモザイク壁画にしました。岩鼻駅には、「岩鼻公園から厚東川を見渡した眺望」を、居能駅には、映画の口ケ地にもなった風光明媚な「湾岸道路」を、宇部新川駅には、建造物として国の指定文化遺産として認定されている「渡辺翁記念会館」と常盤公園の「蟻の城」をモザイク壁画にして展示しました。制作した作品を展示する際には、駅員さんと一緒に駅舎の掃き掃除や窓ふき、草取り等の清掃活動を行い、自分たちが制作した作品を掲示しました。





11月 7日(日曜日) 神原中生徒と見初地区皆さん協働による「見初芸能文化祭」 神原中学校

11月7日(日曜日) 見初小学校を会場に見初芸能文化祭が開催されました。開催に当たり、神中生として何ができるのか、何がしたいのかを10月28日、11月4日の2日間にわたり事前協議の場が持たれました。コンセプトは、「見初地区の人に楽しんでいただくと共に、自分も祭りに参画することで楽しむ」です。お客様を迎え入れるためのスリッパ拭きから、メインステージの司会進行、吹奏楽部演奏、野外アトラクションでは、スーパーボールすくい、コイン落とし、ストラックアウト、ポップコーンコーナー等々沢山のブースがお目見えしました。どのブースにも元気のいい神中生が加わり、歓声が響き渡っていました。「手伝う」から「一緒に作る」祭りが、将来の見初のにぎわい創出につながる秋の一日となりました。





10月27日(水曜日) 「学校や地域の良さと課題」 生徒と学運協委員さんが熟議 桃山中学校

10月27日(水曜日)桃山中学校では、4つのグループに分かれて「桃山中学校や桃山地区の良いところや課題は?」と題し約20分間の熟議が行われました。その後、共有の場が持たれ、「良いところを伸ばすために、また課題の解決に向けた具体的な手立て」について更に20分間の熟議を重ねました。代表の桃中生からは、地区の皆さんと日常的に挨拶を交わし、知り合いになり、関わりを深めながら、地域行事に参画する中でより良い地域づくりに貢献したいという桃山地区に対する思いが伝えらえれました。また、桃山地区について学び、学んだことを桃山新聞(仮称)として、広く伝えたい等の意見もありました。コロナの鎮静化が期待される中、桃中生は地区で活躍したい思いを、自分の言葉で力強く語っていました。





10月26日(火曜日) 学校づくり、地域づくりに向けた児童参加型の学校運営協議会 岬小学校

10月26日(火曜日) 岬小学校では、「岬小学校をより良くし、岬地域を盛り上げるために自分たちにできることを考える」を目的に児童参加型の学校運営協議会が開催されました。全体会で児童代表から、学校づくりに向けた課題として「挨拶」「生活規律」、地域づくりに向けた課題として「環境改善」「岬地域とのつながり」の4点に対する提案がありました。その後、6年生と委員さんによる熟議が開始されました。5年生は来年度を見据え、オブザーバーとして参加しました。委員さんからは、「子どもが、学校づくりや地域づくりについて主体的に考えており頼もしい。6年生の姿が5年生に引き継がれていくことが楽しみ」との声が聞かれました。





10月22日(金曜日) 制服の改定の了承と生徒参加の学校運営協議会 藤山中学校

藤山中学校では、初めて生徒が参加した学校運営協議会が開催されました。「学力向上のために、家庭で、地域で、学校で、生徒自身でできること」というテーマで、知·徳·体の3部会に別れ熱い熟議を行いました。もっと宿題を出してほしいという生徒から学校への要望、学校での学習内容を保護者に詳しく伝えて保護者から生徒に適切な助言をする、メディア対策の一環としても地域で活動する機会を増やすことなど、それぞれの立場で取り組みたいことが話し合われました。今後何らかのアクションが期待されます。また、次年度からの制服の改定についての協議も行われ、協議会の了承が得られました。





10月21日(木曜日) ふるさと夢コンテスト 吉部小学校

吉部小学校では、全校児童が「ふるさと夢コンテスト」に取り組んでいます。これは、児童ー人ひとりが、ふるさと吉部の良さを生かしながらも、将来こんな吉部になってほしいという願いを込めて絵画と作文で表現する取組です。吉部でとれる野菜や果物を町おこしに生かした作品や昆虫王国「吉部」や、今なお吉部に残る大棚のトンネルに思いをはせた船木鉄道を復活させての街づくり等々、正にふるさと吉部の街づくりへ向けた子どもたちの夢満載の取組です。10月21日の学校運営協議会では、委員さんを中心に投票が行われました。各委員さんは、子どもが描く未来の吉部の姿に目を細めておられました。





10月19日(火曜日)学校運営協議会にて、児童がGIGAスクールへの取組説明 恩田小学校

10月19日(火曜日)恩田小学校では、6年生の代表児童が、学校運営協議会委員の皆さんに、本年度から開始されたGIGAスクールでの学びについて説明しました。一人1台のタブレットまたはパソコンの使用が可能になったことにより、自分の考えを瞬時に発信できると共に、友達の考えも広く知ることができ、正に主体的で、対話的で、深い学びにつながっていることが紹介されました。併せてデジタル教科書での分かりやさも披露されました。





## 10月17日(日曜日) コロナ対策を徹底して授業参観・講演会・学校運営協議会 東岐波小学校

東岐波小学校では、人権教育授業参観、講演会、学校運営協議会を開催し、大変多くの保護者が参加しました。当校では、写真のようにコロナ感染症予防の対策を徹底し、日常の連携活動をできる限り実施するように努めています。学運協では、委員会の代表が自分たちの言葉づかいの状況について、委員の皆さんの意見を聞きたいとビデオを通して呼びかけました。





10月5日(火曜日) 今年は大豊作:稲刈り 厚東小学校

厚東小学校では、毎年、地域の方々の支援をいただいてもち米作りを体験し、秋の収穫祭で餅つきをしています。今年はコロナ感染症の予防のため、低、中、高学年別に時間をずらして稲刈りをしました。昨年は、ウンカの大発生でもち米が全滅して収穫できませんでしたが、今年は発生がなく、たくさんのお米が穫れました。





9月30日(木曜日) 歓迎・感謝の歌声/中学生の姿に涙 東岐波中学校区小中合同学校運営協議会

4月の第1回に続き、本年度2回目の生徒の参画による学校運営協議会です。最初に、学校や地域を笑顔にするために結成された東中歌うま合唱団が歓迎・感謝の歌を歌ってくれました。有志によるこの合唱団は、これからも地域の要望にも応えて活動するそうです。生徒会長による取組の状況報告の後、「東岐波っ子のよいところと課題」について各委員の意見を伺い、その後部会に分かれて年度後半の活動について意見を交換しました。地域と連携して活動する生徒の姿に、委員からは「中学生はすごいね。涙が出た。」「できたらいいなあを実現させることを考えていきたいね。」などの声が上がり、大変前向きな協議が行われました。





9月27日(月曜日) 担当教員による地域連携教育進捗状況のプレゼンとタブレットを活用したオンライン会議開催研修 万倉小学校学校運営協議会

校長による年度初めの学校運営方針について、今までどのように取り組んできたか、地域連携担当教員からプレゼンテーションによる説明がありました。複式リーダー学習会や、10の愛言葉による温かい人間関係づくり、更には地域の皆さんとの農業体験から収穫物の販売体験まで、学習の成果とともに地域の皆様への感謝の気持ちも添えられていました。学校運営協議会終了後、必要に応じてオンライン会議が開催できるようにと、タブレット取扱研修会が開催されました。地域の方からは、地域の特色を生かした学校支援を頂き、学校からは、学校の教育環境を生かした勉強会という形での地域貢献の一端が窺えました。





## 9月1日(水曜日) 小中高4校合同あいさつ運動 藤山中学校区

藤山中学校区では、毎月1日、11日、21日の「1のつく日」に、鵜ノ島小、藤山中、香川高校と藤山小の4校であいさつ運動をしています。

今日は9月1日で、2学期初めてのあいさつ運動でした。藤山小学校の正門前に香川高校の先輩も2人来て、コロナ感染症対応で少し離れたところに並んで、登校してくる児童や通行する学生や地域の方に一緒にあいさつをしました。「あいさつで笑顔あふれる藤山校区」を目指す取組です。





## 「学校運営協議会委員さんと6年生の学び合いによる道徳の授業」 厚南小学校 学校運営協議会

厚南小学校の6年生が、学運協の皆さんと一緒に、「学び合い」による道徳の授業を展開していました。「礼儀正しい姿」について考え合う授業です。「大きな声で挨拶」「笑顔が大事」等の意見が出されました。その後、乗り物の中や、親しい人との公的な場面での挨拶等に学びが拡がります。6年生と学運協委員さんによるグループ協議では、声の大きさよりも時と場に応じた声量や、相手に気持ちを届けることが大事だという学びに発展していきました。授業後、6年生からは、大人の礼儀に対する考えを聞くことができたこと、地域の方からは、6年生が、意見を出し合い、深く学び合っていく姿に感動したこと等の感想が聞かれました。